Ⓐ

令和３年度　第１次試験問題

経済学・経済政策

１日目　９：50～10：50

＊試験開始前に、次の事項を必ずご確認ください。

電卓、携帯電話やスマートフォン、ウエアラブル端末(スマートウオッチ等)などの通信機器・電子機器は、机上に置くことも、身に着ける(ポケット等に入れる)ことも、使用することもできません。試験開始前に必ず電源を切った上でバッグなどにしまってください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。
2. マークシートについての注意事項は次のとおりです。
これらの事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。
(1) HB またはＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、正しくマークしてください。鉛筆またはシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●	⊖	▨	⊗	⊙	◍ うすい

(2) 解答は選択肢(解答群)から１つ選び、所定の解答欄にマークしてください。
(3) 解答を修正する場合は、プラスチック製の消しゴムで消しあとが残らないようにきれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。
(4) マークシートに必要事項以外を記入してはいけません。
(5) マークシートを汚したり、折ったりしないように注意してください。
(6) マークシートは、必ず提出してください。持ち帰ることはできません。
3. 監督員の指示に従って、マークシートの所定欄に、受験票記載の受験番号と生年月日を、注意事項を参照の上、記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置き、試験開始の合図があるまでお待ちください。
4. 試験開始後 30 分間および試験終了前５分間は退室できません。(下記参照)
5. 試験終了の合図と同時に必ず筆記用具を置いてください。試験終了後にマークや記入、修正をしてはいけません。
6. マークシートの回収が終わり監督員の指示があるまで席を立たないでください。
7. 試験時間中に体調不良などのやむを得ない事情で席を離れる場合には、監督員に申し出てその指示に従ってください。
8. その他、受験に当たっての注意事項は、受験票裏面などを参照してください。

＜途中退室者の方へ＞

試験開始後 30 分を経過してから終了５分前までの間に退室する場合は、マークシートと受験票を監督員席まで持参して、マークシートを提出してから退室してください。なお、その際には、問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入した上であわせて持参してください。途中退室時は問題用紙を試験室から持ち出すことはできませんので、問題用紙も監督員が回収します。

問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後 20 分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失については責を負いませんのでご了承ください。

(途中退室する場合は、下の欄に受験番号を必ず記入してください。)

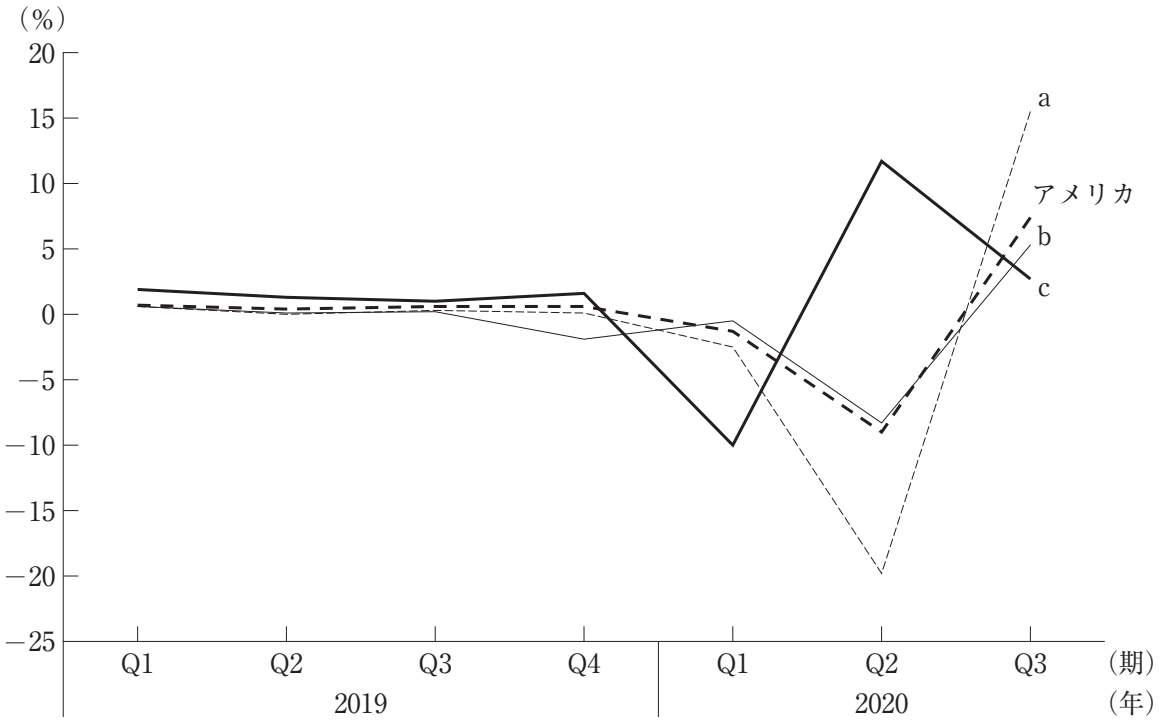
受験番号：

Ⓐ

第 1 問

下図は、2019 年 1 − 3 月期から 2020 年 7 − 9 月期における日本、アメリカ、中国、イギリスの実質国内総生産(前期比、四半期ベース、季節調整済)の推移を示している。

図中の a ～ c に該当する国の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構ホームページ

〔解答群〕

ア　a：イギリス　b：中国　c：日本

イ　a：イギリス　b：日本　c：中国

ウ　a：中国　b：イギリス　c：日本

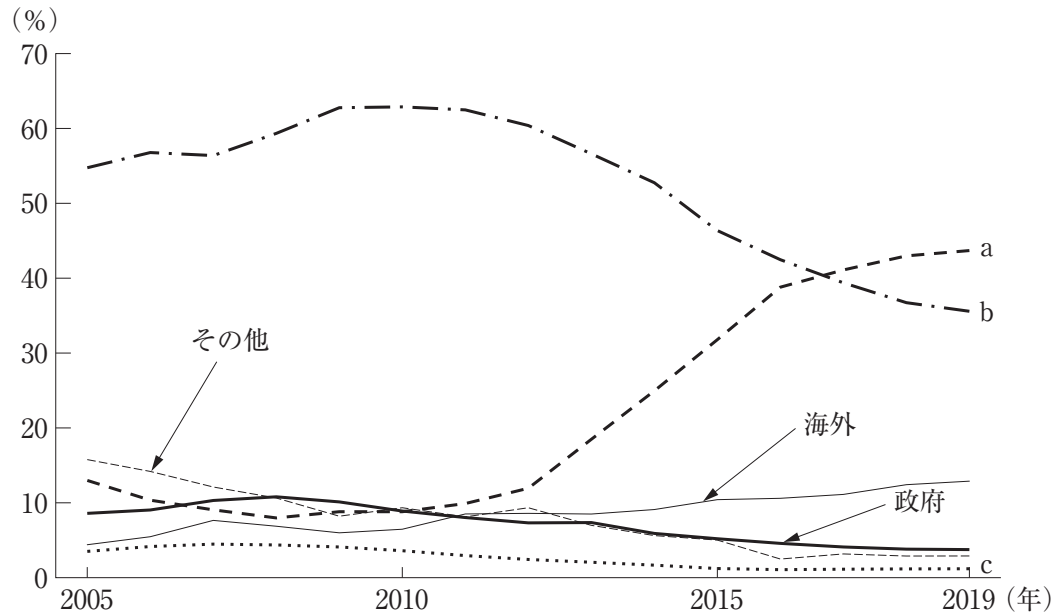
エ　a：中国　b：日本　c：イギリス

オ　a：日本　b：イギリス　c：中国

第 2 問

下図は、国債等の保有者別内訳である。

図中の a ～ c に該当する保有者の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



注：(1) 国債等は、「国庫短期証券」、「国債・財投債」の合計。また、国債等は、一般政府(中央政府)のほか、公的金融機関(財政融資資金)の発行分を含む。
(2) 各年とも 12 月末時点。

出所：日本銀行『資金循環統計』

〔解答群〕

ア　a：金融機関(中央銀行を除く)　　b：個人
　　c：中央銀行

イ　a：金融機関(中央銀行を除く)　　b：中央銀行
　　c：個人

ウ　a：個人　　b：中央銀行
　　c：金融機関(中央銀行を除く)

エ　a：中央銀行　　b：金融機関(中央銀行を除く)
　　c：個人

オ　a：中央銀行　　b：個人
　　c：金融機関(中央銀行を除く)

第 3 問

国内総生産(GDP)に含まれるものとして、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　家族総出の大掃除
b　家族で温泉旅行
c　子供への誕生日プレゼントの購入
d　孫へのお小遣い

〔解答群〕

ア　a と b
イ　a と c
ウ　b と c
エ　b と d
オ　c と d

第 4 問

コロナ禍で落ち込んだ経済を支えるための対策のひとつに、個人や世帯に対する一時金の給付がある。この一時金の経済効果に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　恒常所得仮説によれば、今期の消費は今期の所得によって決定される。従って、緊急事態宣言の発出によって飲食店の営業を停止しても、一時金の給付によって巣ごもり消費が喚起され、経済全体の消費は増加すると考えられる。

b　絶対所得仮説によれば、生涯の所得が生涯の消費を決定する。従って、一時金の給付が将来の増税を予想させるとしても、新しい生活様式への対応を通じて、経済全体の消費は増加すると考えられる。

c　低所得者ほど限界消費性向が高い傾向にあるとすれば、一時金の給付対象に所得制限を設けることは、より効果的に消費を支えると考えられる。

d　不要不急の財に関する需要の所得弾力性が高い傾向にあるとすれば、一時金の給付が消費を増やす効果は、不要不急の消費ほど大きくなると考えられる。

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と b と c

ウ　b と c

エ　b と c と d

オ　c と d

第 5 問

生産物市場の均衡条件は、総需要＝総供給である。総需要 AD と総供給 AS が以下のように表されるとき、下記の設問に答えよ。

$$AD = C + I + G$$
$$C = C_0 + c(Y - T)$$
$$AS = Y$$

ここで、C は消費、I は投資、G は政府支出、C_0 は基礎消費、c は限界消費性向 $(0 < c < 1)$、Y は所得、T は租税である。

（設問 1 ）

乗数に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　均衡予算乗数は、$\dfrac{1}{1-c}$ である。

b　政府支出乗数は、$\dfrac{1}{1-c}$ である。

c　租税乗数は、$\dfrac{1}{1-c}$ である。

d　投資乗数は、$\dfrac{1}{1-c}$ である。

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と c

ウ　b と c

エ　b と d

オ　c と d

（設問２）

景気の落ち込みを回避するための財政政策の効果に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　政府支出の増加額と減税額が同じ規模のとき、景気拡大の効果は政府支出の増加の方が大きい。

b　政府支出の増加額と減税額が同じ規模のとき、両者の景気拡大の効果は等しい。

c　政府支出の増加に必要な財源を増税によってまかなったとしても、政府支出の増加による総需要の拡大効果は増税による総需要の減少分を上回るので、増加させた政府支出の分だけ景気拡大の効果がある。

d　政府支出の増加に必要な財源を増税によってまかなうと、政府支出の増加による総需要の拡大効果は増税による総需要の減少によって相殺されてしまい、景気拡大の効果はなくなってしまう。

〔解答群〕

ア　aとc

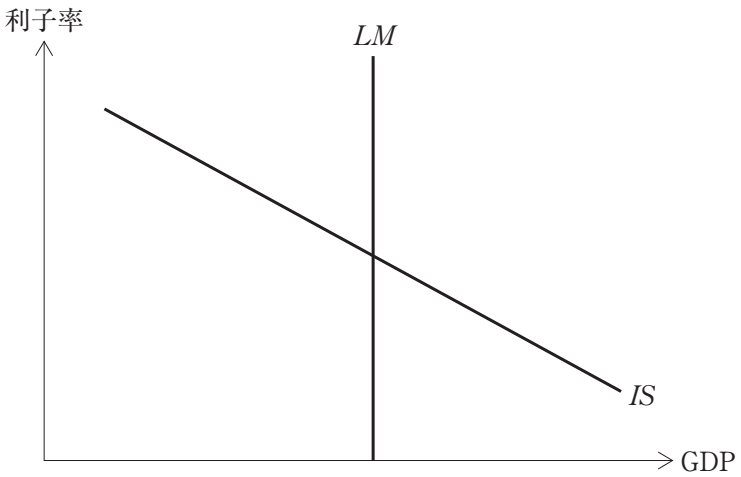
イ　aとd

ウ　bとc

エ　bとd

第 6 問

下図は、*IS* 曲線と *LM* 曲線を描いている。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問 1 ）

LM 曲線が垂直になる例として、最も適切なものはどれか。

ア　貨幣需要の利子弾力性がゼロである。

イ　貨幣需要の利子弾力性が無限大である。

ウ　投資需要の利子弾力性がゼロである。

エ　投資需要の利子弾力性が無限大である。

（設問２）

LM 曲線が垂直であるときの財政政策と金融政策の効果に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。なお、ここでは物価水準が一定の短期的な効果を考えるものとする。

a　政府支出を増加させると、完全なクラウディング・アウトが発生する。

b　政府支出を増加させると、利子率の上昇を通じた投資支出の減少が生じるが、GDP は増加する。

c　貨幣供給を増加させると、利子率の低下を通じた投資支出の増加が生じるが、GDP は不変である。

d　貨幣供給を増加させると、利子率の低下を通じた投資支出の増加によって、GDP は増加する。

〔解答群〕

ア　a と c

イ　a と d

ウ　b と c

エ　b と d

第７問

貨幣乗数に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　マネー・ストックが１単位増えると、マネタリー・ベースはその貨幣乗数倍だけ増加する。

b　金融機関の準備率が高くなると、貨幣乗数は小さくなる。

c　現金よりも預金で通貨を保有する傾向が高まると、貨幣乗数は小さくなり、マネタリー・ベースの増加に伴うマネー・ストックの増加の程度も小さくなる。

d　中央銀行は、マネタリー・ベースのコントロールを通じて、マネー・ストックを調整する。

〔解答群〕

ア　aとb

イ　aとc

ウ　bとc

エ　bとd

オ　cとd

第 8 問

金融政策に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　投資の利子感応度が大きいほど、貨幣供給量の増加が GDP を増加させる効果は、大きくなる。

b　貨幣数量説の考え方によると、貨幣供給量の増加は、物価水準を上昇させるとともに、実質 GDP を比例的に増加させる。

c　ケインズ的な金融政策の考え方によれば、貨幣供給量は経済成長率に合わせた一定率（k %）で増加させることが望ましい。

d　流動性のわなが生じているときの貨幣供給量の増加は、更なる利子率の低下がないために投資のクラウディング・アウトを伴うことなく、GDP を増加させる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：正

イ　a：正　b：正　c：正　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

エ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正

第 9 問

生産物市場における輸出入の変化が GDP や貿易収支に与える影響に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　輸出と輸入が同規模で増加するとき、外国貿易乗数は 1 になる。

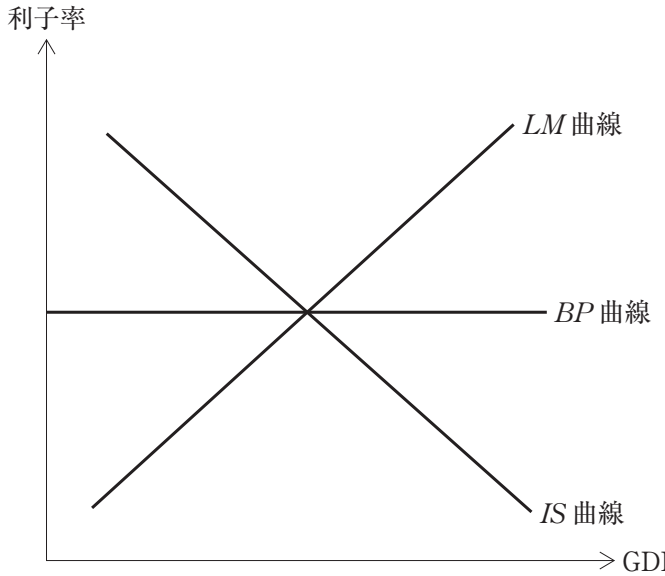
イ　輸出の増加は、輸出の増加分に外国貿易乗数を乗じた大きさだけ貿易収支を改善させる。

ウ　輸入の増加は、輸入の増加分に外国貿易乗数を乗じた大きさだけ自国の GDP を減少させる。

エ　輸入の増加は、輸入の増加分に外国貿易乗数を乗じた大きさだけ貿易収支を悪化させる。

第10問

完全資本移動の場合のマンデル=フレミング・モデルについて考える。下図において、*IS* 曲線は生産物市場の均衡、*LM* 曲線は貨幣市場の均衡、*BP* 曲線は国際収支の均衡を表す。この経済は小国であるとする。変動相場制のケースでの経済政策に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



a　金融緩和政策は、資本が海外から自国に流入することにより、自国通貨高を生じさせる。

b　財政拡大政策は、資本が海外から自国に流入することにより、自国通貨高を生じさせる。

c　金融緩和政策は、輸出を増加させることを通じて、自国の GDP を増加させる効果を持つ。

d　財政拡大政策は、輸出を増加させることを通じて、自国の GDP を増加させる効果を持つ。

〔解答群〕

ア　a と c

イ　a と d

ウ　b と c

エ　b と d

第11問

雇用・失業の用語に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　アルバイトで生計を維持する大学生は、労働力人口に含まれる。
イ　非労働力人口は、専業主婦(夫)を含まない。
ウ　有効求人倍率が1を超えるとき、完全失業率はゼロである。
エ　有効求人倍率は、新規求人数を月間有効求職者数で除した値である。
オ　労働力人口は、未成年を含まない。

第12問

全要素生産性(TFP)に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

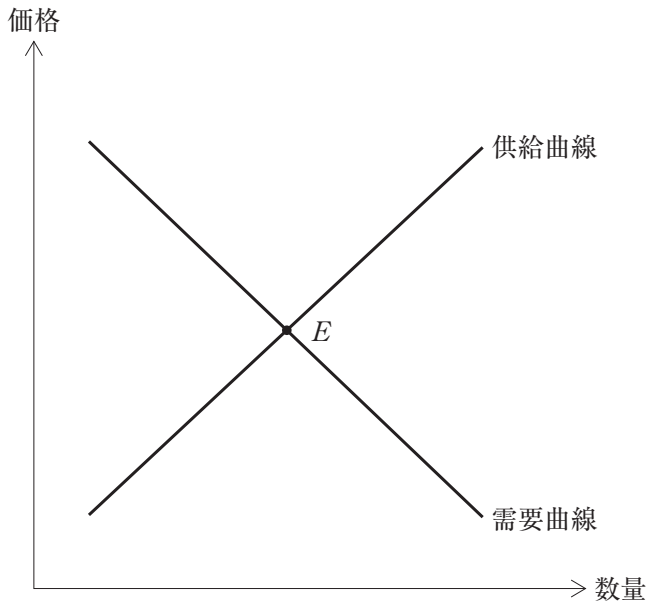
a　新しい技術の開発は、全要素生産性を上昇させる要因のひとつである。
b　経済成長率＝(労働分配率×労働生産性の成長率)＋(資本分配率×資本投入の成長率)＋全要素生産性の成長率、である。
c　生産要素の投入量が一定であったとしても、全要素生産性が上昇すると、生産量は増加する。
d　全要素生産性は、生産量を労働投入量で除した値である。

〔解答群〕

ア　aとb
イ　aとbとc
ウ　aとc
エ　aとcとd
オ　bとcとd

第13問

市場取引において、売り手の行動を表す曲線は「供給曲線」、買い手の行動を表す曲線は「需要曲線」と呼ばれている。下図に基づき、供給曲線と需要曲線のシフト要因と、均衡価格の変化に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、点 E が初期の均衡を示している。



〔解答群〕

ア　技術の進歩によって供給曲線が左方にシフトし、嗜好の変化によって需要曲線が左方にシフトすると必ず均衡価格が上昇する。

イ　技術の進歩によって供給曲線が右方にシフトし、所得の増加によって需要曲線が右方にシフトすると必ず均衡価格が上昇する。

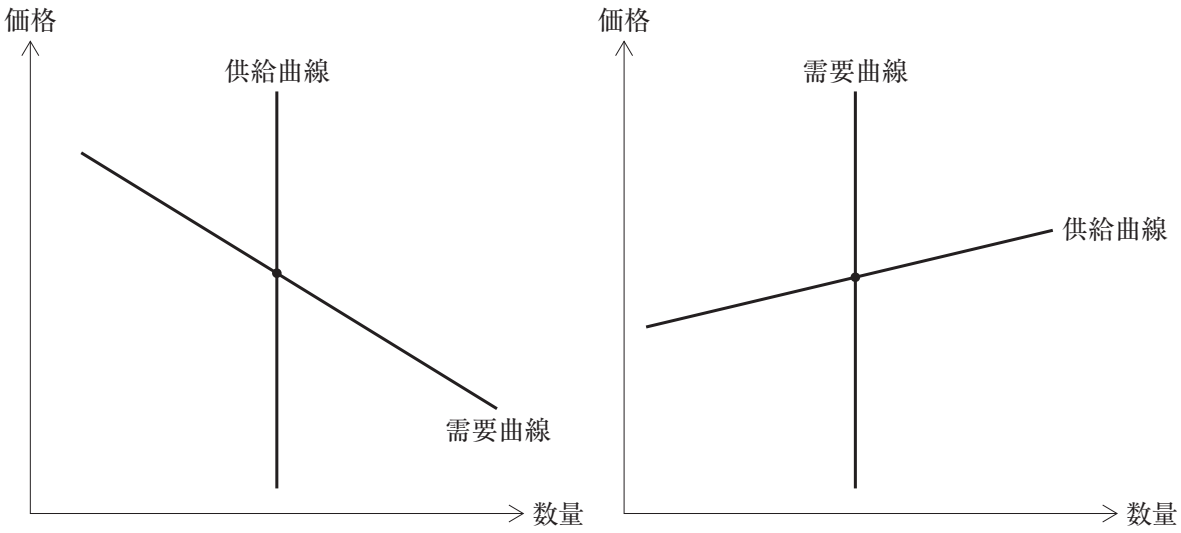
ウ　原材料費の下落によって供給曲線が左方にシフトし、嗜好の変化によって需要曲線が右方にシフトすると必ず均衡価格が上昇する。

エ　原材料費の上昇によって供給曲線が左方にシフトし、嗜好の変化によって需要曲線が左方にシフトすると必ず均衡価格が下落する。

オ　原材料費の上昇によって供給曲線が左方にシフトし、所得の増加によって需要曲線が右方にシフトすると必ず均衡価格が上昇する。

第14問

左図では供給曲線が垂直になっており、また、右図では需要曲線が垂直になっている。需要曲線がシフトする場合の売り手の収入の変化に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　左図では、需要曲線が右方にシフトするとき、売り手の収入は減少する。

b　右図では、需要曲線が右方にシフトするとき、売り手の収入は増加する。

c　需要曲線が左方にシフトするとき、両方の図で、売り手の収入は減少する。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：誤

イ　a：正　　b：誤　　c：誤

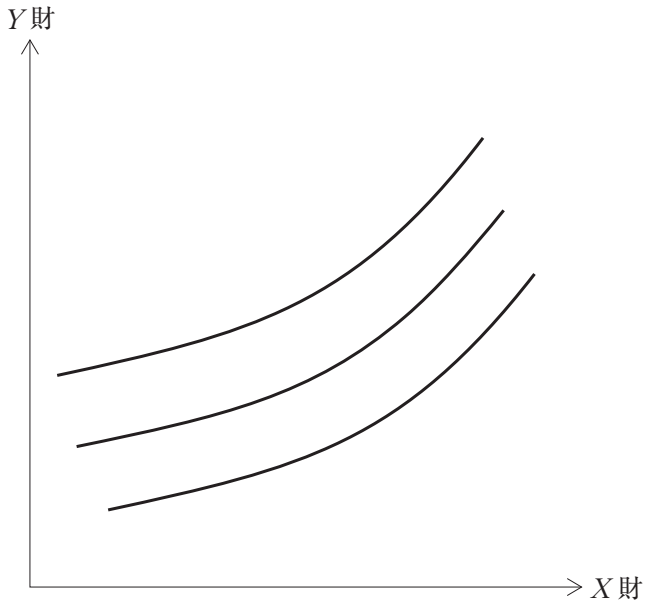
ウ　a：誤　　b：正　　c：正

エ　a：誤　　b：正　　c：誤

オ　a：誤　　b：誤　　c：正

第15問

下図のような形状をした無差別曲線に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



a　X財がおにぎり、Y財がサンドイッチのように、不完全であるが代替可能性のある2財の関係を示している。

b　X財がお弁当、Y財が容器ゴミのように、通常の財と負の財の関係を示している。

c　この無差別曲線上におけるX財とY財の組み合わせでは、得られる効用は一定である。

d　この無差別曲線上を右に行くほど、X財を1単位増やすために減らさなければならないY財の量は増加する。

〔解答群〕

ア　aとc

イ　aとcとd

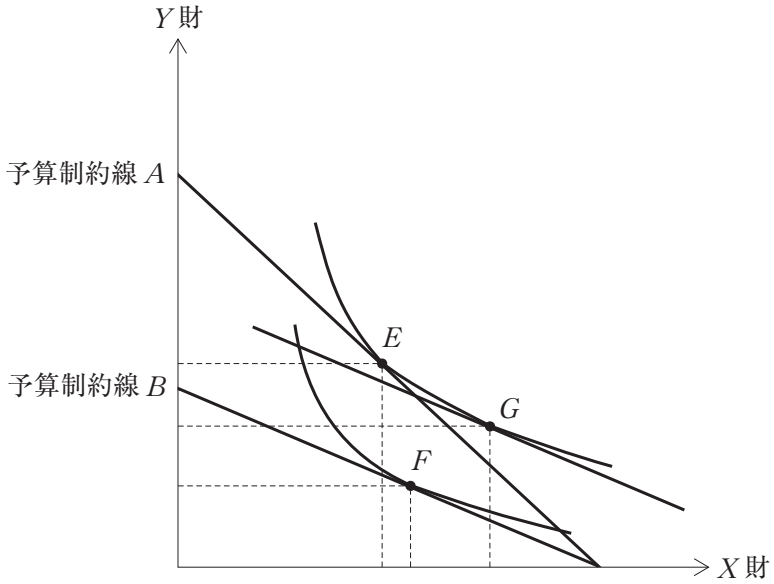
ウ　bとc

エ　bとcとd

オ　bとd

第16問

限られた所得を有する個人がおり、X財とY財を購入することができるとする。下図には、この限られた所得に基づいて予算制約線Aと予算制約線Bが描かれており、また、予算制約線Aと点Eで接する無差別曲線と、予算制約線Bと点Fで接する無差別曲線が描かれている。下図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



a　予算制約線Aから予算制約線Bへの変化は、X財の価格の上昇によるものである。

b　予算制約線Aから予算制約線Bへの変化は、Y財の価格の上昇によるものである。

c　点Eから点Fへの変化は、代替効果と呼ばれている。

d　点Eから点Gへの変化は、代替効果と呼ばれている。

〔解答群〕

ア　aとc

イ　aとd

ウ　bとc

エ　bとd

第17問

大学生のＡさんは、アルバイト先の時給が上がったことで、所得が増加した。その結果、お昼に学食に行く回数が減り、イタリアンレストランに行く回数が増えた。この状況に関する説明として、最も適切なものはどれか。

ア　Ａさんにとって、学食とイタリアンレストランの消費は両方ともプラスであるので、ともに上級財である。

イ　Ａさんにとって、学食とイタリアンレストランは補完財である。

ウ　Ａさんにとって、学食の消費は減り、イタリアンレストランの消費は増えたので、学食は下級財であり、イタリアンレストランは上級財である。

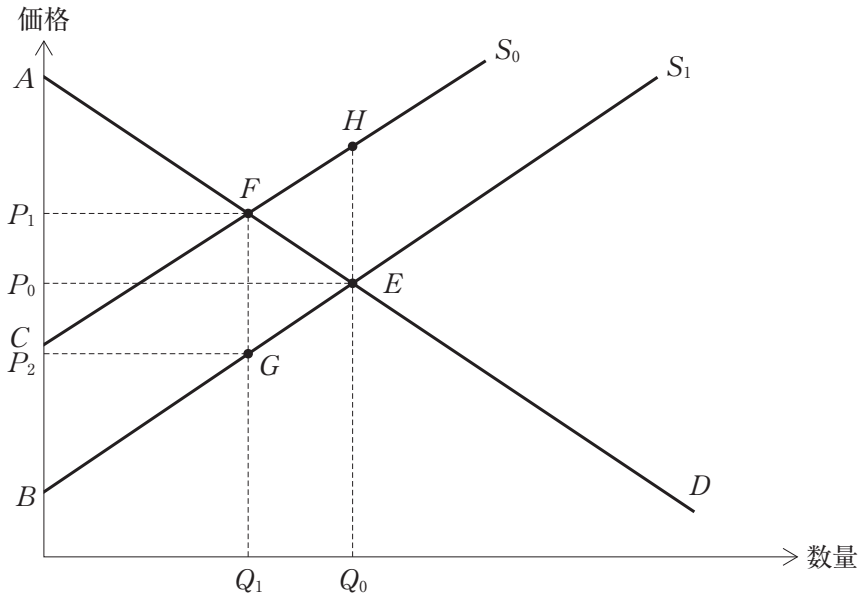
エ　Ａさんにとって、学食は必需品であり、イタリアンレストランは奢侈(しゃし)品である。

オ　Ａさんにとって、学食もイタリアンレストランも必需品である。

第18問

生産に外部経済が伴う場合の市場均衡を考える。下図には、需要曲線 D、私的限界費用曲線 S_0、社会的限界費用曲線 S_1 が描かれている。市場均衡は点 F で与えられ、均衡価格は P_1、均衡取引量は Q_1 である。また、社会的な最適点は点 E で与えられている。

このとき、社会的に最適な状態を実現するために政府が生産者に対して補助金を交付するとする。交付される補助金の大きさとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　四角形 $CBEF$

イ　四角形 $CBEH$

ウ　四角形 $CBGF$

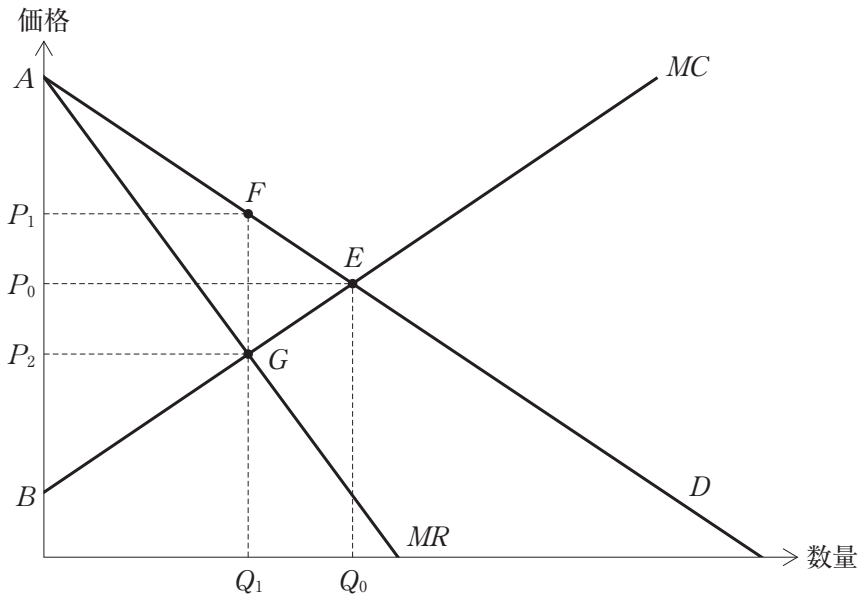
エ　四角形 $FGEH$

オ　四角形 P_1P_2GF

第19問

下図によって独占企業の利潤最大化を考える。D は独占企業の市場需要曲線、MR は独占企業の限界収入曲線、MC は独占企業の限界費用曲線である。

この図に関する記述として、最も不適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　社会的に望ましい生産量は Q_0 で実現し、そのときの総余剰は三角形 ABE である。

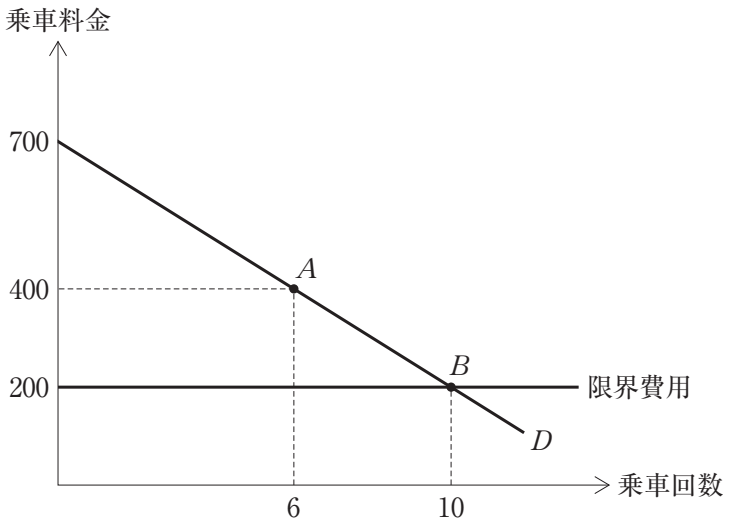
イ　生産量が Q_1 のとき、この独占企業の平均収入は P_1 である。

ウ　独占企業が利潤を最大化させるときの消費者余剰は台形 AP_2GF である。

エ　独占企業の利潤を最大化する生産量は Q_1 である。

第20問

ある遊園地では、入場料とアトラクション乗車料金の2部料金制をとっている。太郎さんがこの遊園地のアトラクションに乗る回数は1回当たりの料金に依存するので、下図のような需要曲線Dが描けるとする。また、この遊園地がアトラクション乗車1回で負担する限界費用は200円であるとする。下図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　点Aにおいて太郎さんが支払う費用は1,200円である。

b　点Aよりも点Bの方が、太郎さんの消費者余剰は大きい。

c　入場料700円を支払った後に、点Aにおいて太郎さんはこのアトラクションに6回乗る。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正

エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　b：誤　b：誤　c：誤

第21問

消費の競合性と排除性に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　マグロの漁場のような共有資源には、排除性はないが、競合性がある。

b　支払いにより加入をすることで消費ができるクラブ財には、排除性があるが、競合性はない。

c　競合性と排除性を持ち合わせる財のことを公共財という。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

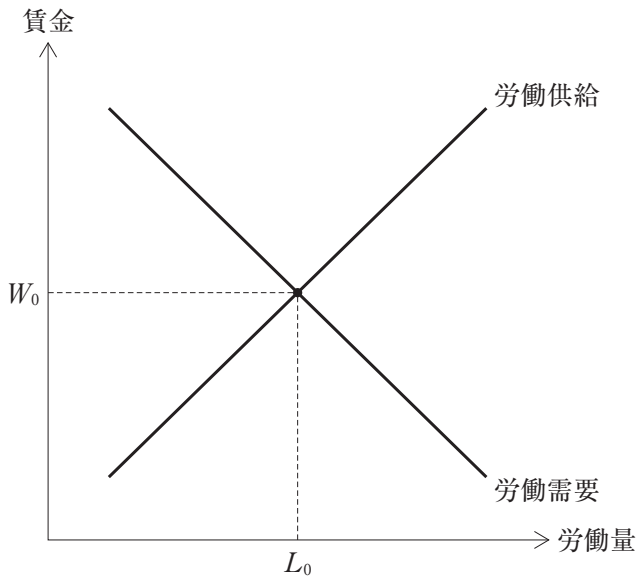
ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正

第22問

下図のような労働市場について考える。この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



a　最低賃金を W_0 より高い水準に設定すると、労働市場は超過供給の状態となり、失業が生じる。

b　労働市場を開放し、海外から労働移民を受け入れると、労働需要曲線が右方にシフトする。

c　資本投入量が増加すると、賃金は上昇する。

d　最低賃金を W_0 より低い水準に設定すると、人手不足の状態となる。

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と c

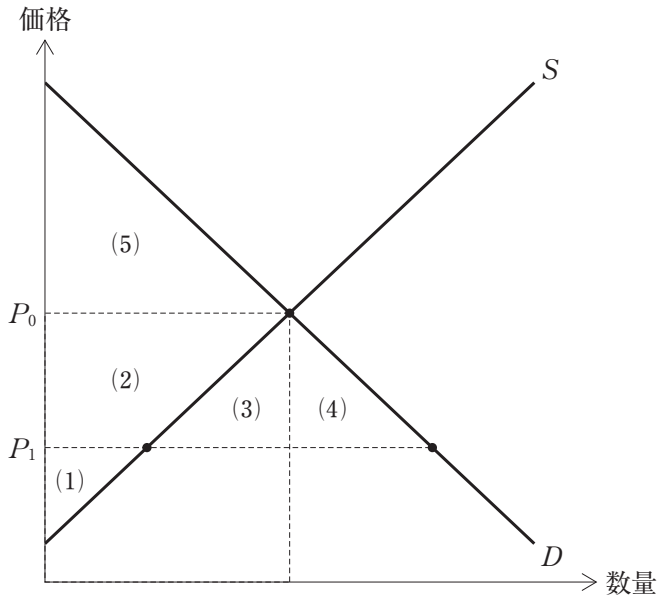
ウ　a と d

エ　b と c

オ　c と d

第23問

自由貿易協定によって、それまで輸入が禁止されていた果物の輸入が自由化されることになった。下図には、この果物に関する国内市場の需要曲線 D と供給曲線 S が描かれている。輸入自由化によって、国内価格が P_0 から国際価格 P_1 になったときの消費者余剰と生産者余剰に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　自由貿易協定によって、消費者余剰は(3)と(4)の分だけ増加する。

イ　自由貿易協定によって、生産者余剰は(1)よりも大きくなり、消費者余剰は(5)よりも大きくなる。

ウ　自由貿易協定による、生産者から消費者への再分配効果は(1)と(2)である。

エ　自由貿易協定による生産者余剰の減少分は(2)である。

オ　自由貿易協定による総余剰の増加分は、(2)、(3)を加えたものである。

正　誤　表

「A　経済学・経済政策」第 20 問
(22 ページ)

誤	正
〔解答群〕の「オ」 b：誤　b：誤　c：誤	〔解答群〕の「オ」 a：誤　b：誤　c：誤